

平成28年度事業報告

I 重点実施事項

平成28年度は、本県の観光推進等を図るため、次の3つの事項について重点的に取り組んだ。

また、昨年4月に発生した熊本地震における本県観光への影響を最小限に抑えるための事業を行った。

1 宮崎版DMOの形成

当協会は、平成28年5月に、「地域連携DMO」候補法人として国の登録を受けた。

DMOとしての当面の課題である全県を対象とした観光地域づくりを推進するため、農林水産業やスポーツ等幅広い分野から新たに理事を選任し体制の強化を図るとともに、市町村や観光協会とのブロック別意見交換会や観光関係の団体・企業との意見交換会を実施するなど、多様な関係者の合意形成及び連携に努めた。

また、県内の着地型観光素材等の実態調査等にも取り組んだ。

2 海外インセンティブ旅行（報奨旅行）の誘致

経済効果が非常に大きいMICEの中で、海外インセンティブ旅行の誘致については、海外インセンティブ旅行を主催した旅行会社への補助制度を新設し、28年度に韓国・台湾・香港・タイでの商談会・個別セールスを実施した。

とりわけタイは、2016年訪日旅行者数が約90万人と過去最高を記録するなど、東南アジア市場からの訪日需要を牽引した国であり、新たなターゲットとした。

タイの商談会では旅行会社が非常に魅力的な補助制度として興味を示しているものの、宮崎の知名度が低く、今のところ大口インセンティブの誘致にはつながっていないが、今後も引き続きこの制度をPRし誘致を図っていく。

3 東京オリンピック等を見据えた合宿の誘致

「2020東京オリンピック・パラリンピック大会」の事前合宿にドイツ陸上連盟及びオーストラリアパラリンピックチームを誘致するために、関係自治体や競技団体等と連携し、各キーパーソンの視察対応を行った。

また、2017年ワールド・ベースボール・クラシック日本代表「侍ジャパン」の強化合宿を2009年、2013年に続き本県で開催することができた。

その他、これまでに築いた「スポーツキャンプの聖地みやざき」のブランド力を最大限に生かして、国内・国外の社会人や大学生等の合宿誘致に積極的に取り組み、成果を上げた。

4 熊本地震対策

熊本地震に伴う本県への観光客の大きな減少が懸念されたことから、影響を最小限にとどめるため、国の「九州ふっこう割事業」等に取り組み、一定の成果を上げた。

Ⅱ 熊本地震対策

平成28年4月の熊本地震の影響により減少した本県への観光客の早期回復を図るため、国内外客を対象とした割引旅行商品等の販売を旅行会社（ネット系宿泊サイト含む）等と連携して行うことで、旅行需要を喚起した。

1 宮崎観光緊急誘客対策事業（県単復興予算事業）

- (1) ネット系宿泊サイト「じゃらんnet」・「楽天トラベル」を活用した国内の個人旅行者向け「宿泊割引クーポン」の販売
 - ・販売数 7,488枚 ・人泊数 16,715泊
- (2) 宿泊を伴う団体旅行を催行した旅行会社等へのバス支援
 - ・支援台数 109台 ・人泊数 3,035泊
- (3) 国内の企画募集型団体旅行を催行した旅行会社等への送客・バス支援
 - ・送客支援 2社 ・人泊数 324泊

2 九州ふっこう割事業（国復興予算活用事業／九州7県合同）

- (1) 国内外オンライン旅行社による宿泊旅行商品の割引販売（九州観光推進機構実施）
 - ・旅行会社 18社（楽天トラベル、じゃらんnet、るるぶ、HIS等）
 - ・人泊数 58,252泊
- (2) 店舗型旅行会社（リアル旅行会社）の旅行商品の割引販売
 - ① 国内旅行会社 54社
 - ・割引上限額 1期(7-9月)1,000~20,000円、2期(10-12月)500~15,000円
 - ・人泊数 35,931泊
 - ② スポーツ合宿専門旅行会社
 - ・割引額 一人当たり3,000円
 - ・人泊数 3,248泊
 - ③ 外国の旅行会社（インバウンド）旅行商品（オンライン旅行社以外の団体商品等）の割引販売
 - ・割引額 一人当たり2,000円
 - ・人泊数 35,466泊
- (3) コンビニエンスストア等を活用した割引宿泊券
セブンイレブン、ローソン、ファミリーマートにおいて、5,000円の割引クーポンを、1期では2,500円（割引率50%）、2期では3,500円（割引率30%）で販売
 - ・販売総数 36,445枚
 - ・人泊数 24,510泊
- (4) PR事業
 - ① 「日本のひなた宮崎県 ひなたの恵み収穫祭」（10月1日~12月28日）
ふっこう割旅行商品の利用促進のための県内観光地を巡るスタンプラリー
 - ② 熊本・大分復興応援イベント（霧島サービスエリア）

Ⅲ 観光振興

1 観光情報の発信・提供

本県の観光資源やタイムリーな情報の発信・提供

- (1) 協会HP「旬ナビ」(英語ほか6言語対応)活用による情報発信
平成28年度4月～3月アクセス件数 約321万件
- (2) NHK宮崎放送局ローカル番組を活用したPR
紹介件数：県及び26市町村で延べ50イベント
- (3) 新聞・雑誌等広告 ほか
九州ふっこう割や東九州自動車道等の広告を掲載し、誘客を促進

2 観光プロモーション活動

県外(東京、大阪、広島、福岡等)での観光イベント等に出展し、宮崎への認知度を高め誘客を推進

地域	計画	実施済	主なもの
関東	3	3	・ツーリズムEXPOジャパン(東京都) ・女子旅EXPO(東京都)
関西	2	2	・頑張ろう!九州観光プロモーション(大阪市) ・天神橋筋商店街イベント(大阪市)
中国	3	2	・ひろしまフラワーフェスティバル(広島市) ・九州沖縄春の大観光展(広島県府中市)
九州	7	6	・みやざきスペシャル3DAYS(福岡市) ・みやざきひなたweeeek in福岡(福岡県粕屋町)
合計	15	13	—

3 旅行商品造成に向けた取組

- (1) 個人旅行者向け旅行商品の開発、PR
 - ① 個人旅行者をターゲットとする新たなテーマの旅行商品企画造成
 - ② 県内着地型素材の調査と磨き上げ
 - ③ 旅行サイトを活用したプロモーション
- (2) 特に女性を対象とした情報発信、プロモーション等の実施
 - ① 女子向け旅行に特化した展示会「女子旅EXPO」への出展(9月7日)
 - ② 発信力の高い雑誌とWebサイトを活用した情報発信 「オズマガジン」
- (3) 旅行会社等への支援
旅行会社等が企画する旅行商品(28年度上期版、28年度下期版)に対して支援を行い、誘客を促進
ANA「旅ドキ」、JTB「日本の旬」、読売旅行「ロマンの旅」等7社
- (4) 旅行商品造成のための観光素材説明会
 - ① 国内では、九州7県合同の説明会(九州観光推進機構主催)に参加
 - ・5～6月 東京、名古屋、大阪、広島、福岡、松山
 - ・8～10月 東京、札幌、名古屋、大阪、福岡
 - ② 国外では、韓国、台湾、香港、ASEAN諸国にて実施(インバウンド対策参照)

(5) 旅行会社研修会の受入・招請

旅行会社の担当者等に本県観光素材に対する理解を深めてもらうため、県内視察やプレゼンテーションを行い、旅行商品の造成を促進

受入企業 ANA、JAL、JR西日本

4 教育旅行誘致

平成28年3月17日に設立された「宮崎県教育旅行誘致推進協議会」(事務局：みやざき観光コンベンション協会)を核として、県内関係機関・団体、民間事業者等とオールみやざきで誘致を推進

(1) 教育旅行担当者招請人数

	首都圏	関西	鹿児島	計
旅行社関係者	—	24	—	24
学校関係者	18	10	7	35

*首都圏・関西圏/高校・中学校、鹿児島/小学校

(2) 関係機関・団体と連携したセールスプロモーション

① セールス訪問件数

	首都圏	関西	福岡	鹿児島	沖縄	台湾	計
旅行社	15	5	10	24	8	4	66
学校	7	54	10	55	30	—	156

*首都圏/高校、関西圏/高校・中学校、福岡・沖縄/中学校、鹿児島/小学校

② 教育旅行素材説明会への参加

*説明会場別参加人数

説明会場	静岡	名古屋	東京	大阪	台湾	計
旅行社関係者	18	39	49	42	—	148
学校関係者	15	12	24	23	201	275

国内：教育旅行素材説明会（九州観光推進機構主催）

台湾：JNTO主催

③ 学校交流 台湾

- ・国立台北東女子高級中学（交流先 宮崎学園高校 4/26）
- ・台南市建興国民中学（交流先 日向学院中学校 7/13）

○ 教育旅行受入状況

	小学校等		中学校		高等学校等		合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
平成26年度	13	695	16	2,053	26	2,555	55	5,303
平成27年度	9	389	20	2,410	26	2,802	55	5,601
平成28年度	59	2,902	8	1,787	16	2,143	83	6,832

*平成28年度は、熊本地震による行き先を本県に変更した振替校(53校)を含む。

(3) 教育旅行素材やモデルコース等をまとめたPRパンフレットの作成

5 世界農業遺産を活用した観光推進

高千穂郷・椎葉山地域世界農業遺産活性化協議会及び関係5町村等と連携した、世界農業遺産を切り口とする新たな旅行商品化を図るためのモニターツアーを実施

- ・モニターツアーに向けた地元関係者によるワークショップの開催（延べ3回）
- ・インターネットを利用したマーケット調査の実施
- ・多様な業界と在日外国人によるモニターツアーの実施（3/9～10）

6 東九州自動車道を活用した誘客促進

東九州自動車道「北九州－宮崎」間の全線開通（平成28年4月25日）を好機として、更なる誘客を図るため、昨年に引続き大分県等と連携し、北部九州、中四国を主なターゲットにしたPR・旅行会社等へのセールス等を実施

(1) メディアを活用した観光PR

新聞社広告（5） 季刊旅雑誌（1） フリーペーパー（5） テレビ（1）

(2) 旅行会社等へのセールス等

キャラバン隊を結成 各地（鹿児島 山口 広島 福岡 大分 松山）訪問

(3) PRイベントの実施

各地（広島 福岡 霧島サービスエリア）で開催されたイベントでのPR

(4) 「九州観光周遊ドライブパス」（NEXCO西日本主催）を活用したPR

九州の高速道路が、連続する3～4日間、定額で乗り放題となる割引企画「九州観光周遊ドライブパス」を活用したおすすめモデルコースと観光スポットを紹介するチラシを作成し、東九州自動車道の利用と本県への誘客を促進

* 「九州観光周遊ドライブパス」

実施期間 平成28年7月15日～12月18日

申込件数 約23万件

7 インバウンド対策

国際定期便が就航する国・地域を中心に、セールスやPR等を実施し外国人誘客を促進するとともに、近年増加しているクルーズ客や個人旅行者の更なる誘客を図るために、クルーズ船社や旅行会社等へのセールス等を実施

(1) 定期便（韓国、台湾、香港）を利用した誘客

地域	主な取組み
韓国	<ul style="list-style-type: none">・セールスプロモーション（3回）・商談会（1回）・旅行会社等招請（3回13社）・ホームショッピングでの旅行商品販売支援・webを活用したプロモーション・FIT向けガイドブックの作成
台湾	<ul style="list-style-type: none">・セールスプロモーション（2回）・旅行会社等招請（2回23社）・観光展（1回）・商談会（1回）・台湾テレビ局での番組放映（2局）・交通広告（地下鉄）・FIT向け恋旅パンフレットの作成

香 港	<ul style="list-style-type: none"> ・セールスプロモーション（5回） ・博覧会（3回） ・商談会（2回） ・旅行会社等招請（5回7社） ・交通広告（トラム） ・ウエディングパンフレットの作成
-----	--

○ 定期便利用状況

・宮崎ーソウル

	搭乗者数	うち外国人	搭乗率
平成28年度	42,950人	35,145人	69.6%
平成27年度	42,461人	36,853人	69.5%
平成26年度	39,642人	32,644人	68.5%

・宮崎ー台北

	搭乗者数	うち外国人	搭乗率
平成28年度	26,482人	17,700人	64.9%
平成27年度	33,604人	23,689人	69.3%
平成26年度	34,761人	22,174人	69.7%

・宮崎ー香港

	搭乗者数	うち外国人	搭乗率
平成28年度	23,794人	21,788人	65.7%
平成27年度	23,885人	22,784人	65.4%
平成26年度	200人	196人	65.8%

(2) 中国・東南アジアへの誘客活動

地 域	主 な 取 組 み
中 国	<ul style="list-style-type: none"> ・セールスプロモーション（1回） ・観光展（1回） ・旅行会社等招請（1回10社） ・商談会（1回）
ASEAN諸国	<ul style="list-style-type: none"> [タイ] ・セールスプロモーション（2回） ・商談会（1回） ・旅行会社等招請（2回4社） ・博覧会（1回） [シンガポール] ・セールスプロモーション（1回） ・商談会（1回）

(3) ビジット・ジャパン事業（VJ事業※）への参画

※ 外国人旅行者の誘客を図るために、九州運輸局と地方（自治体、観光関係団体等）が広域に連携し取り組む訪日プロモーション。九州観光推進機構が実施するVJ事業（現地商談会等）へも参画。

- ・韓国 東九州・ウエルネスツーリズムPR事業（8月～2月）
- ・香港 南九州ウエディングツーリズムPR事業（11月～2月）

(4) クルーズ船誘致

県内3港の特性と周辺地域の観光資源を活かし、南九州のクルーズの拠点を目指して誘致活動（見本市への参加等、セールス）を実施

- ・セールスプロモーション（1回）
- ・見本市出展（3回）
- ・旅行会社等招請（2回3社）

○ クルーズ船寄港状況

単位：隻

	細島港		宮崎港		油津港		国内船	外国船	合計
	国内船	外国船	国内船	外国船	国内船	外国船			
平成27年度	1	1	0	0	3	7	4	8	12
平成28年度	3	5	2	0	4	16	9	21	30

○平成28年度のクルーズ船寄港実績

	月日	寄港地	船名	総トン数	客数	出発地	備考
1	4/11	油津	マリナー・オブ・ザ・シーズ	138,279	2,518	上海	
2	5/2	油津	ゴールデン・プリンセス	108,865	2,154	台湾	初寄港
3	5/10	宮崎	につぼん丸	22,472	347	東京	
4	5/18	油津	クアンタム・オブ・ザ・シーズ	167,800	4,533	上海	
5	5/23	油津	飛鳥II	50,142	631	神戸	
6	5/28	油津	ダイヤモンド・プリンセス	115,875	2,585	神戸	初寄港
7	5/29	細島	飛鳥II	50,142	632	神戸	
8	5/30	油津	レジエント・オブ・ザ・シーズ	69,130	1,929	天津	
9	5/31	油津	ゴールデン・プリンセス	108,865	2,537	台湾	
10	6/2	細島	コスタ・ヒクトリア	75,166	1,716	釜山	
11	6/13	油津	ホイジャー・オブ・ザ・シーズ	138,194	3,382	香港	
12	6/19	油津	クアンタム・オブ・ザ・シーズ	167,800	4,806	上海	
13	7/6	細島	スカイ・シー・ゴールデン・エラ	72,458	1,880	上海	
14	7/16	油津	飛鳥II	50,142	821	神戸	
15	7/25	油津	クアンタム・オブ・ザ・シーズ	167,800	3,840	上海	
16	8/15	油津	クアンタム・オブ・ザ・シーズ	167,800	4,632	上海	
17	8/28	油津	ダイヤモンド・プリンセス	115,875	2,859	横浜	
18	9/16	細島	コスタ・ヒクトリア	75,166	1,415	釜山	
19	9/25	油津	クアンタム・オブ・ザ・シーズ	167,800	4,611	上海	
20	10/8	細島	コスタ・ヒクトリア	75,166	1,551	上海	
21	10/11	油津	レジエント・オブ・ザ・シーズ	69,130	1,130	厦門	
22	10/18	油津	飛鳥II	50,142	727	横浜	
23	11/9	油津	オペレーション・オブ・ザ・シーズ	167,800	4,110	香港	初寄港
24	11/11	油津	クアンタム・オブ・ザ・シーズ	167,800	4,774	上海	
25	11/22	油津	飛鳥II	50,142	436	名古屋	
26	11/26	細島	ぱしふいっくびいなす	26,594	448	横浜	
27	1/5	宮崎	につぼん丸	22,472	417	神戸	
28	1/6	油津	クアンタム・オブ・ザ・シーズ	167,800	4,203	上海	
29	3/6	細島	飛鳥II	50,142	769	神戸	
30	3/17	細島	フォーレスタム	61,396	1,395	横浜	初寄港

*乗船客数 67,788人 (国内船/9回・乗船客数5,228人 国外船/21回・乗船客数62,560人)

IV MICE推進

1 MICE推進体制

- (1) みやざきMICE推進協議会総会の開催(3月)
- (2) MICEセミナー開催(3月)
産学官が連携して誘致する機運の醸成等を行うため、MICEセミナーを開催
- (3) MICEアンバサダー任命(11月)
開催地としてのプレゼンス向上の為、学識、名声があり、専門分野において影響力のある人財をアンバサダーに任命し、本県への誘致活動を推進

<アンバサダー一覧>

伊東 正一 氏 (九州大学大学院教授)
水光 正仁 氏 (宮崎大学副学長)
明石 良 氏 (宮崎大学副学長)
田村 宏樹 氏 (宮崎大学工学教育研究部教授)
永田 順子 氏 (宮崎大学医学部講師)

- (4) MICE表彰制度創設(2団体表彰、3月)
本県での開催に特段の貢献をされた個人や団体等を対象に表彰制度を設け、気運の醸成と関係者の意識向上
・宮崎青年会議所
・宮崎県商工会議所青年部連合会

2 MICE誘致

- (1) 個別誘致セールス (27回)
大都市圏(東京、福岡)での学術会議事務局や大学、企業、さらに県内の大学や各種団体等への訪問を強化し、誘致を促進
- (2) 学術会議等誘致推進懇談会 (9月:東京、10月:福岡)
誘致可能性のある学術会議等の事務局や大学、企業関係者を対象に誘致推進懇談会を開催し、当協会の支援制度等の説明や情報交換会を行い誘致を促進
- (3) 国内外MICE・キーパーソンの招請【国内10件(全件決定)、国外6件(4件決定)】
学会関係者等MICE決定に影響力のあるキーパーソンや、インセンティブ旅行等を扱う国内外の旅行業者を招請し、宮崎の会議施設、アフターMICEとなる観光地等の視察を実施し、誘致を促進
- (4) 国際MICE誘致
国際MICE、海外インセンティブ旅行の誘致を図るため、日本政府観光局主催の商談会・見本市への参加、さらに個別セールスを実施
 - ① MICE商談会・見本市への参加(IME参加12月)
 - ① 現地セールス【台湾(8月)、韓国(7月)、香港(6月)、タイ(2月)】

3 MICE開催支援

(1) MICE開催支援補助金交付(50件)

- ・基準を満たす九州規模以上の大会へのMICE開催支援補助金の交付

(2) その他支援

上記開催支援補助金対象外のMICEについて、歓迎看板設置等を支援(56件)

- ・歓迎看板や横断幕、バナーの設置
- ・郷土芸能等の披露
- ・交通アクセス支援
- ・各種パンフ(グルメ&ナイトマップ等)等の提供

4 広報・宣伝

セールス用パンフレットやHP「旬ナビ」、学会の機関紙等で“みやざきMICE”の魅力を広く情報発信し、本県の開催イメージ・ブランド力をアップ

5 調査・企画・開発

(1) 調査・企画

開催情報の収集及び提供

(2) 研修等参加

MICE推進団体の会議、研修に参加し、職員のMICE業務能力向上、情報収集力を高めるとともに、交流による人脈づくりを推進

(3) MICEメニュー開発

誘致促進を図るため、広域的かつ多様なメニューを開発し、利用を促進

MICE開催件数

(件、人)

年度	24	25	26	27	28
件数	200	176	193	195	194
延参加者数	226,783	239,517	217,780	218,674	219,948

平成28年度開催が決定した主な大型MICE

(人)

開催期日	MICE名	参加者数	延人数
2017年			
5月19日～21日	第87回九州眼科学会	530	1,590
7月26日～28日	九州地区公立学校教頭会研究大会	1,200	3,600
9月8日～9日	第43回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会	1,300	2,600
9月16日～18日	第78回九州山口薬学大会	1,800	5,400
10月13日～14日	第55回日本糖尿病学会九州地方会	1,100	2,200
11月5日～9日	2017年国際溶媒抽出学会	400	2,000
2018年			
1月20日～21日	生涯スポーツ研究大会	2,400	4,800
5月7日～12日	LREC(言語資源と評価に関する国際会議)	1,000	6,000
4月26日～28日	第91回日本内分泌学会学術総会	2,000	6,000
10月4日～7日	日本青年会議所全国大会	12,000	25,000
10月29日～31日	第70回都市計画全国大会	750	2,250
2019年			
3月7日～10日	日本商工会議所青年部第38回全国大会	3,000	12,000

V スポーツランド推進

1 スポーツイベント等開催促進

全国大会等、経済効果の高いスポーツイベントの開催支援

(1) 野球

- ① プロ野球ファーム日本選手権 (10/1) 観客数 5,618名
- ② プロ野球秋季教育リーグ『みやざきフェニックスリーグ』(10/3～24)
試合数94試合 観客数 16,874名

(2) ゴルフ

- ① ダンロップフェニックストーナメント (11/17～20) 観客数 10,977名
- ② LPGAツアーチャンピオンシップリコーカップ (11/24～27) 観客数 12,129名
- ③ アクサレディスゴルフトーナメント (3/24～26) 観客数 13,179名

(3) その他

- ① ITUトライアスロンワールドカップ宮崎開催 (10/29～30) 観客数 15,000名
- ② 第30回青島太平洋マラソン (12/11) 出場者 12,435名
- ③ ラグビートップリーグ公式戦 (12/18) 観客数 2,592名

2 スポーツキャンプ等受入支援

(1) プロスポーツ盛り上げ支援

プロ野球、Jリーグサッカー、大相撲等、プロスポーツの宮崎キャンプ・合宿等に対する県産品の贈呈や歓迎事業等の支援

- ① プロ野球 9球団 (日本)巨人、広島、西武、ソフトバンク、オリックス、楽天、ヤクルト、(韓国)斗山、ハンファ ※WBC日本代表
- ② Jリーグ 20チーム (J1) 9チーム：広島、C大阪、甲府、横浜FM、川崎、FC東京、大宮、鹿島、仙台、(J2) 9チーム、(J3) 2チーム
- ③ 大相撲 2部屋 東関部屋、武蔵川部屋
- ④ 日本代表 7種目 男子柔道、女子ウエイトリフティング、陸上競技短距離、ソフトテニス、トライアスロン、パラトライアスロン、パラリンピック陸上

(2) アマチュアスポーツ盛り上げ支援

社会人や大学生等、宮崎でキャンプ・合宿を実施する団体に対する県産品の贈呈や、初めての合宿する団体に対して経費の一部を助成

- ① 社会人・大学生等合宿 16団体 (野球、陸上、ラグビー等)
- ② 合宿支援を行った団体数 27団体 (野球、サッカー、テニス等)

3 スポーツキャンプ・合宿誘致対策

(1) 誘致セールス等

大学・実業団等を対象に誘致セールスや誘致セミナーを実施

〈誘致セールス〉

関東・関西・東海・韓国の旅行代理店、社会人・大学等 29件

〈誘致セミナー〉

関西地区 12大学33団体

(2) キーパーソン招請

スポーツ団体等のキーパーソンを招請し、スポーツ施設や宿泊施設のほか、本県の豊富な食材や豊かな自然をPRし、本県のスポーツキャンプ環境をアピール

(3) 情報発信

プロ野球及びJリーグの春季キャンプへの誘客を図るため、キャンプガイドマップ(10万部)やポスター(1000部)等を作成し、道の駅等に配付

また、SNS「みやざきスポコミュ」によりキャンプ情報をファンと共有するとともにキャンプ風景やスポーツイベント情報を掲載し全国へ情報発信

(4) スポーツメディカル推進

スポーツキャンプ・合宿の受入環境を充実させるため、県外のスポーツ団体等がメディカル検査を受診する場合の経費について補助金を交付

また、社会人・学生等のアマチュアスポーツチームへトレーナーを紹介するための準備として、アスレティックトレーナーバンク設立に向けた研修会の開催やチラシ作成の実施

〈メディカルチェック実績〉

- ・ ソフトテニスナショナルチーム 28名
- ・ ホクレン陸上部 2名

〈アスレティックトレーナー〉

- ・ 宮崎アスレティックトレーナー協会登録者 34名
- ・ チラシ作成部数 2,000枚

(5) アスリートフード推進

スポーツキャンプ・合宿の受入環境を充実させるため、県栄養士会の協力を得ながら宮崎の「食」を活かしたアスリートフードメニュー(貧血、増量、減量メニュー)を開発

また、「みやざきアスリートフード試食会」を開催し、陸上競技の実業団選手や高校生ラグビー部員への普及活動と意見聴取の実施

4 東京オリンピック・パラリンピック事前合宿の誘致

① ドイツ陸上競技連盟視察受入

平成29年1月 9日(月)～13日(金)

② オーストラリアパラリンピック委員会視察受入

平成29年3月17日(金)～19日(日)